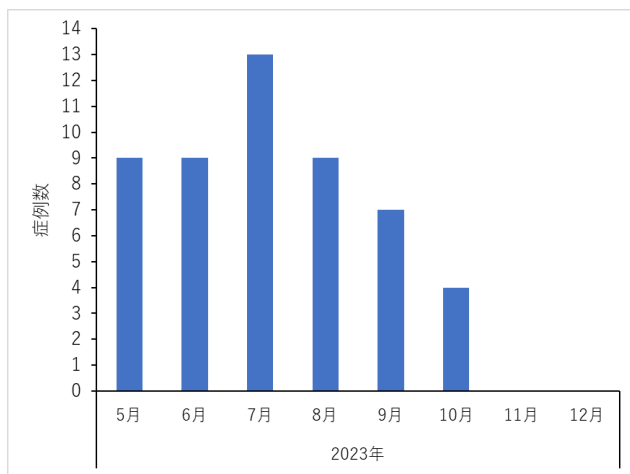


平素より当研究に御賛同・御協力いただき、心より感謝申し上げます。

2023年5月～2023年10月までに御登録いただきました、計51例の小児侵襲性GBS感染症疫学情報（暫定値）を報告いたします。

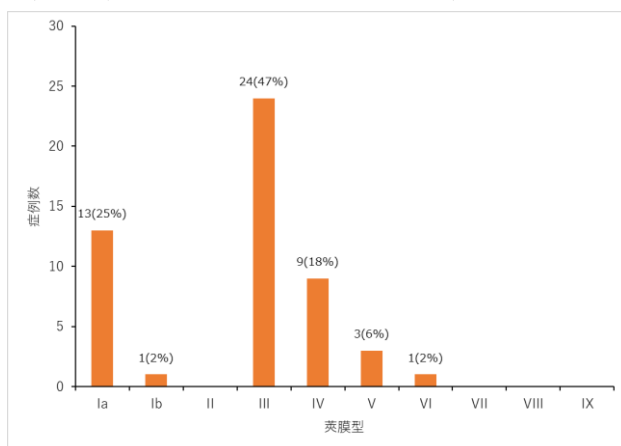
・研究対象患者：15歳以下の小児で無菌検体からB群連鎖球菌（GBS）が検出された患者

## (1) 発症年月別小児侵襲性GBS感染症報告数 (n=51, 2023年5月～2023年10月)

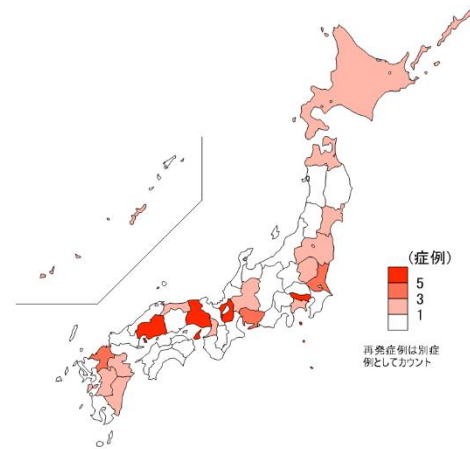


(再発例は別症例としてカウントしています。)

## (2) 莢膜型分布 (n=51, 報告時解析分のみの結果)



## (3) 各都道府県における症例数分布 (n=51)



### 研究班からのメッセージ

- 皆様の御協力のもと、前向き症例登録が50症例を超えました。引き続き症例の登録をよろしくお願いいたします。
- 現在国立感染症研究所における一括審査施設追加に時間を要しております。お待たせしてしまっている御施設の先生方にお詫び申し上げます。
- 第55回日本小児感染症学会総会・学術集会のシンポジウム1において、研究について発表を行う予定です。
- 引き続き小児の侵襲性GBS感染症が発生しましたら [igbs-japan@nih.go.jp](mailto:igbs-japan@nih.go.jp) へ御連絡下さい。

研究班 HP <https://igbs.jp/>



研究代表者 菅井 基行

主任研究員 中野 哲志、笠井 正志

芝田 明和、大竹 正悟